heimtextil 2013 - 2014 TREND FORUM

■ ハイムテキスタイル / 家庭用、及び商業用テキスタイルの国際見本市

messe frankfurt URL: www.messefrankfurt.com

開催期間：2013年1月9日 ～ 12日
開催会場：フランクフルト国際見本市会場
出展者数　62カ国から2,658人の出展者　（昨年61カ国より2,634）　　日本からの出展23社＊デザインスタジオ出展含む（昨年18社）
来場者数　128カ国からのおよそ66,000人　（昨年136カ国より67,451人）

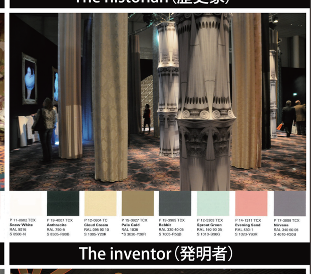
同時期に開催されるインテリア関連の見本市に対して分散化が危惧される中、テキスタイルの技術進化、壁紙の充実、ホームリネンのトレンド発信など総合的なテキスタイル見本市ならではの共有する方向性が感じられた。

Being

＜コンセプト＞
これまでとは違う、次に進む、変化する、次の形、答えを見つける、そのための途中であり、進化形。
昔、過去、継承されたモノづくりの守るべき部分と進化すべき部分が融合し、様々な実験や挑戦を試み、これまでにないテキスタイルの表情や価値を見出す。
そして生活の中でどのように使われ、心地よい空間にしていくかが課題となるだろう。

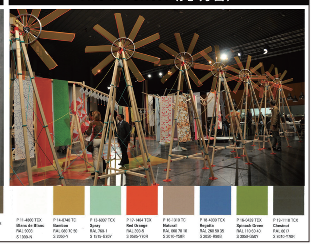
The eccentric（変人）

The historian（歴史家）



The geologist（地質学者）

The inventor（発明者）



heimtextil 2013 - 2014 QUALITY TREND

■ クォリティー傾向

近年におけるテキスタイルの技術革新は、伝統的な織物や手法を画期的に進化させている。
重厚で繊細かつ高品質な織物やクラフト的なテキスタイルは、刺繍や意匠糸、加工テクニックにより、その豪華さ、華麗さが新しく再現される。

クラシックな織物がラグジュアリーな新しさを再現

ゴブラン織や高密度のジャガード織物に膨れの凹凸や刺繍と合体。個性的な色で表情豊かに。

刺繍、レーステクニックのバリエーション

ケミカルな技法や刺繍でアンティック風のレースを再現、赤や黒のビビッドなカラーが増加、テープ刺繍

糸使いや繊細なふくらみで視覚的な変化とタッチを表現

比較的薄い織物は、パターンと融合した膨れや収縮、糸使いの変化で不均一で複雑化したテククチャーを表現。

メタリックプラスのテクスチャー表現

マットな光沢＋しわ加工、ルーズな箔PT、マットなコーティング、アルミ箔、金属繊維の光沢

heimtextil 2013 - 2014 COLOR TREND

■カラー傾向

主要なカラーグループのトレンドの大きな移行は感じられないが、カラーを発信する背景やインスピレーションに自然を起源とする色相の深みや色の重なりが今シーズンの複雑な色のニュアンスを構成している。

自然界の現象を表すような無数の色層、アンバー＆コッパーが混ざり合う

陰影やグラデーション、色あせた褐色、古ぼけたセピアトーン、黒ずみ、鈍い光沢、玉虫調の輝き

鮮やかなムードのパッションカラー

型破りな大胆な色使い、ぶつかり合うようなカラーコントラスト、高発色、サイケデリックな印象

エレガントな色合いの中間色

グレイッシュなミッドトーンが洗練されたクールな印象を放ち、ニュートラルカラーの品格をアップする。

深みのあるミステリアスなブルー

深海、天空、地球の自然が持つ無限のブルーをインスピレーション

暖かいムードの甘めピンク

コーラルピンク、ピンクファミリーの色使い、ピンク＋ペールゴールドが新鮮

heimtextil 2013 - 2014 PATTERN TREND

■パターン傾向

テクニカルな技術の進化は、コンピュータによるパターン作成にクリエーティブで個性的なデザインを生み出している。
伝統的な要素や工芸、文化をインスピレーションして、新しい要素と融合することでコンテンポラリーで奥行のあるデザインを構成する。

クラシックなモチーフの再編

装飾的なパターンやモチーフを重ねたり、ミックスしたり、型押しと合わせたてパターン構成。

モダンエスニックのバリエーション

イカット、絞り、手刺繍などハンドメイドな技法、パターンにインスピレーションを得てアップデート。

デジタルプリントの技法がデザインテクニックの可能性を拡大

シンメトリーなパターンや３Ｄ効果、オンブレ、自由なサイズで花、風景、抽象パターンをコラージュ。

熱帯モチーフがインテリアにアクセントと遊び心を加える

フォトグラフィックなトロピカル風景や植物の幻想的なコラージュ。鳥モチーフのバリエーション。